

Journal of High Performance Sport 投稿・執筆要項

<ジャーナルの趣旨>

Journal of High Performance Sport (以下、JHPS; 旧誌名 Sports Science in Elite Athlete Support) は、ハイパフォーマンススポーツにおける競技力向上への医・科学的貢献を目指す研究雑誌です。その内容には、強化現場に直結する応用的・実践的なものから、将来活用が見込まれる研究までが含まれます。さらに、エリート競技者のような特異的な対象者に焦点を当てた実践研究やその特性を探究する研究、医・科学サポートに関する事例・症例の報告や研究資料も扱います。

<投稿要項>

1. 投稿内容

原稿の種類は総説、原著論文、事例・症例報告、研究資料、短報の5つです。原稿は和文もしくは英文とします。論文の容量は短報を除き、図表を含め、原則刷り上がり10ページ以内(1ページ1,760字相当)としますが、論文の特性上それ以上の分量が妥当とみなせる場合はこの限りではありません。

A) 総説：特定の研究領域の知見を体系的にまとめたもの。

B) 原著論文：原著論文には、従来の理論的知識から課題を抽出して実験、調査、観察等によって検証する研究、実践場面から得られたデータ(事例)を手掛かりとして体系的知識の理解を深めようとする実践研究、エリート競技者等を対象として得られたデータを整理してその特性(競技特性、競技水準間比較、世代間比較など)について検討する研究が含まれます。

C) 事例・症例報告：医・科学サポート場面における活動事例(もたらされた効果や変化の記述を含む)や逸脱事例(症例)に関するレポート

D) 研究資料：調査等の結果を主体にした客観的資料のうちB)原著論文に該当しないもの。資料に対する説明が十分になされている必要があります。

E) 短報：図表を含め刷り上がり4ページ程度で、喫緊の課題に対する報告。短報には、和文・英文要旨は必要ありません。

2. 採否

複数の査読者の意見を参考にして、編集委員会において原稿の採否を決定し、掲載は原則として採択順とします。なお、採択の要件は以下の通りです。

A) すべての原稿に共通の要件

1) 文章および図表が整然としており、ケアレスミスがない

2) 論の展開に矛盾や飛躍がない

3) 被験者や被験動物を取り扱う場合に倫理的配慮が適切に行われている

B) 総説および原著論文で満たすべき要件

- 1) 新規性（総説の場合は総説としての新規性）がある
- 2) 目的に合った分析・検討を行っている
- 3) 得られた知見が将来ハイパフォーマンススポーツに直接的もしくは間接的に貢献する可能性を有する

C) 事例・症例報告、研究資料、および短報で満たすべき要件

- 1) ハイパフォーマンススポーツの実践において参考になる内容が含まれている

3. 再投稿

判定が「要修正」だった場合には、8週間以内に回答文書（書式自由）を添えて再提出してください。修正箇所は赤字で示してください。原則として「C：掲載不可」と判定した査読者の指摘に対する回答および修正は必要ありませんが、担当編集委員からも修正を要求された場合や明らかに修正すべきと著者が判断できる内容については修正してください。期限を越えて再提出された場合には新たに投稿された論文として受け付けます。

4. 校正

英文校正は必要に応じて投稿前に著者の負担で行ってください。また採択後の校正は、編集事務局より連絡された期限内で著者に行っていただきます。

5. 掲載

掲載後の著作権は国立スポーツ科学センターに帰属します。掲載料は国立スポーツ科学センターが負担します。別刷料は著者負担とします。

6. 原稿送付

原稿及び「投稿受付票」は、下記担当にメールで送付してください。原稿については、下記執筆要項「原稿の形式」における全てをまとめたPDFファイル、ならびに「原稿の形式」におけるA~CのみをまとめたPDFファイルの2通りご提出ください。また、採用が決定次第、完成原稿をメールでお送りください。

※原稿送付先、問い合わせ先

国立スポーツ科学センター スポーツ研究部（JHPS 担当） jhps@ipnsport.go.jp

7. 掲載方法

掲載を許可された原稿については、査読終了後インターネット上（国立スポーツ科学センターホームページ上および電子ジャーナル配信サイト J-STAGE）にて公開し、適宜冊

子体の発行を行います。

<執筆要項>

1. 投稿受付票

「JHPS 投稿受付票」をご提出ください。

2. 言語・用紙

言語は、日本語または英語に限ります。英文での投稿であっても査読や事務局手続きは日本語で進めます。なお、先頭著者の第一言語が英語でない場合には、本文が日本語の場合の英文要旨を含め、ネイティブチェックを受けるようにしてください（校正証明書の提出は不要）。原稿を作成する用紙は A4 版縦とし、全角 40 字 30 行（英文綴りおよび数値は半角）で上下左右 3cm の余白を設けてください。

本文および文献表には、ページ下部中央にページ番号を、左側に行番号を付加してください。

3. 書式

和文、英文ともに、10.5 ポイントの活字で印字してください。和文の場合、句点（.）、読点（,）を使用してください。英文綴りおよび数値は半角の字体で記してください。

4. 文体

和文の場合、新仮名遣い、横書き、である調を基本とし、当用漢字を用いてください。外国人名は原語とし、外来語の一般化しているものはカタカナとします。

5. 項目分け

大項目より小項目への順序は次のとおりとします。

I., II., ……., 1, 2., ……., 1), 2), ……., a), b), …….

6. 単位及び単位記号

原則として国際単位制度 (SI) に従いますが、当該領域で慣用されているものはこの限りではありません。

7. 原稿の形式

A) 表紙

- 1) 表題（英文タイトル（本文が英文の場合は和文タイトル）も付けてください）
- 2) ランニングタイトル（本文が和文の場合は和文で 40 字以内、英文の場合は英文でスペース含め 80 字以内。表題がこの字数に収まっている場合には表題と同じにすること）
- 3) 本文の言語
- 4) 原稿の種類

B) 英文要旨 (Abstract) : 研究目的、方法、結果、結論などを含めて 300 語以内で記載してください。ただし、短報の場合は不要です。

C) キーワード (英文要旨に続けて) : 5 つ以内の英文キーワード (固有名詞等を除き頭文字も小文字で) とそれに対応する和文キーワードを記載してください。

D) 本文 : 和文または英文で記載してください。

E) 図表 : 題目および図表内の文字は原則英語とし, 題目は図表近くに記載してください。挿入場所を本文欄外に赤字で指定するか、挿入場所に図表を直接挿入してください。原則白黒としますが、必要に応じてカラーも可とします。

F) 文献 : 文献を引用する際には、本文中に番号 (例 ; 1, 3, 10) を付してください。文献欄には、引用した文献についてのみ掲載し、著者名をアルファベット順にして本文中の番号と照合させてください。なお、欧文誌の略称は Web of Science、PubMed にならない、単語頭文字のみ大文字にしてください。

参考) http://images.webofknowledge.com/images/help/WOS/A_abrvjt.html

例) Journal of biomechanics → J Biomech

※注意点

- 区切り記号及びスペースは半角
- 著者または編集が団体の場合、法人組織等の語句は省略する
- 著者と発行所が同一の場合も発行所名は記載する

～文献記載例～

1) 雑誌論文

著者名. 論文名. 雑誌名, 巻(号)数: 初頁-終頁, 発行年.

[例]

Vickery WM, Dascombe BJ, Baker JD, Higham DG, Spratford WA, Duffield R. Accuracy and reliability of GPS devices for measurement of sports-specific movement patterns related to cricket, tennis, and field-based team sports. J Strength Cond Res, 28(6): 1697-1705, 2014.

湯田淳, 結城匡啓, 藤井範久, 阿江通良. スピードスケート 5,000m 競技における世界一流長距離選手のレースペースの分析. バイオメカニクス研究, 6(2): 116-124, 2002.

中村真理子, 中村大輔, 大岩奈青, 早川直樹. エリートサッカー選手における唾液中コルチゾールを用いたコンディション評価の可能性. Journal of High Performance Sport, 4: 71-78, 2019.

2) 図書

2-1) 図書全体を参照した場合

著者または編集（監修）者名．書名．版数（初版・第1版は記載不要），発行所名，発行年．

[例]

Broad E. Sports nutrition for Paralympic athletes. CRC Press, 2013.

Nigg BM, Herzog W. Biomechanics of the musculo-skeletal system. 3rd Edition, John Wiley & Sons, 2007.

阿江通良, 藤井範久. スポーツバイオメカニクス 20 講. 朝倉書店, 1983.

コーチング研究会編. ジュニア・アスリートのための体力トレーニング法. 第 2 版, 神田書房, 2001.

日本スポーツ振興センター国立スポーツ科学センター. 国立スポーツ科学センター10 年のあゆみ：挑戦への新しいカタチ. 日本スポーツ振興センター国立スポーツ科学センター, 2011.

2-2) 特定のページあるいは特定の 1 章・1 論文を利用した場合

著者名．章の題名．編集（監修）者名（3名以上の場合は・・・ら）編，書名．版数（初版・第1版は記載不要），発行所名，pp.初頁-終頁，発行年．

（英文の場合は章の題名の後に“In: 編集（監修）者名, (Ed.)または(Eds.)”をつける）

[例]

Truman H. Fund raise for professional sport. In: Roosevelt T et al. (Eds.) Foundations of Sport Management. Sports and Leisure Published, pp.259-282, 1988.

山崎喜比古. ストレス対処能力 SOC とは. 山崎喜比古ら編, ストレス対処能力 SOC. 有信堂高文社, pp.3-24, 2008.

2-3) 翻訳書の場合

原著者名（姓のカタカナ表記）：訳者名（3名以上の場合は・・・ら）訳．書名．版数（初版・第1版は記載不要），発行所名，初頁-終頁，発行年．

[例]

グリーン, パティ: 山西哲郎ら訳. 中・高校生の中長距離走トレーニング. 大修館書店, pp.101-117, 1999.

3) WEB サイト

著者名．WEB ページの題目．URL (参照年月日)

[例]

厚生労働省. 日本人の食事摂取基準 (2015 年版)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/eiyuu/syokuji_kijyun.html (2015 年 4 月 1 日)

附則

1. この規程は、2021 年 1 月 7 日から施行する。